

第1回 定時評議員会 議事録

令和5年度  
第1回 定時評議員会 議事録  
(令和5年6月19日)

1. 開催通知年月日

令和5年5月29日(月)

2. 開催の日時及び場所

(1)日時 令和5年6月19日(月) 午前10時00分～午前11時00分

(2)場所 田川市伊田2735番地13

スマイルプラザ田川 会議室

3. 評議員現員数

18名(令和5年6月19日現在)

4. 出席者氏名(11名)

星野峰敏、吉武精稔、辻 孝、北山俊之、梅林由子、友清忠男、米森マリ子

藤光若生、新開清英、浦田秀樹、重松計茂

5. 欠席者氏名(7名)

圖師利雄、平田珠美、橋本三雄、藤江徳考、浦田憲一、村坂教法、水上郁子

6. 役員・監事

出席者氏名

役員:佐々木一広

監事:安永昭俊・田籠 均

7. 議長

吉武精稔評議員

8. 決議に特別の利害関係を有する評議員

該当なし

9. 議題

(1) 報告事項

会長の職務執行状況報告

(2) 決議事項

第1号議案 任期満了に伴う理事の選任

第2号議案 任期満了に伴う監事の選任

第3号議案 令和4年度事業報告(案)の承認

第4号議案 令和4年度決算(案)の承認

## 10. 評議員会の議事の経過の要領及びその結果

午前10時00分、平畑事務局長より今回の評議員会開催に関する経過について報告した。評議員総数18名のところ、11名の出席により定款第16条第1項の規定により、本評議員会が成立していることを確認後、佐々木会長挨拶より挨拶。

続いて、事務局長より、6月8日に開催された評議員選任解任委員会において、新評議員として承認された北山俊之氏(民児協)と友清忠男氏(市老連)を紹介の後、出席評議員の互選により、議長の選任を行い、吉武評議員が議長に就任した。

また、藤光評議員と梅林評議員が議事録署名人に指名され、出席評議員の了承を得た。

### (1) 報告事項 会長の職務執行状況報告

事務局長より会長の職務執行状況報告について、別紙のとおり令和5年3月1日から令和5年6月1日までの報告書は、社会福祉法第45条の16第3項及び本会定款第21条第4項に基づく会長の職務状況に関する報告であり、会計年度ごとに4月を超える間隔で2回以上、執行状況を報告することとされているためである旨の報告を行った。

### (2) 決議事項

- 第1号議案 任期満了に伴う理事の選任
- 第2号議案 任期満了に伴う監事の選任
- 第3号議案 令和4年度事業報告(案)の承認
- 第4号議案 令和4年度決算(案)の承認

吉武議長より、議案第1号から議案第4号議案に関して、特別な利害関係を有する評議員が在するか確認の結果、本日の議案について該当する評議員がない旨が報告された後、会長及び監事は議案の関係で一旦退席。

#### 第1号議案 任期満了に伴う理事の選任

事務局長より、任期満了に伴う役員改選に伴い、社会福祉法第43条第1項及び定款第19条第1項の規定により、評議員会において役員候補者の選任についてお諮りし、吉武議長により個別に候補者の選任を行った。

選任結果

「二場浩隆」候補＝選任

「中藤譲二」候補＝選任

「熊谷依子」候補＝選任

「山田利晴」候補＝選任

「長谷川香」候補＝選任

「中川千草」候補＝選任

「木戸靖二」候補＝選任

「勢嶋伴睦」候補＝選任

「水上茂」候補＝選任

「吉井啓介」候補＝選任

「佐々木一広」候補＝選任

#### 第2号議案 任期満了に伴う監事の選任

続いて、事務局長より、第2号議案「任期満了に伴う監事の選任」について、社会福祉法第43条第1項及び定款第19条第1項の規定により、評議員会において、候補者の選任について説明し、吉武議長により個別に候補者の選任を行った。

選任結果

「安永昭俊」候補＝選任

「田籠均」候補＝選任

会長及び監事再入室。

#### 第3号議案 令和4年度事業報告(案)の承認

続いて第3号議案「令和4年度事業報告」について、山口係長が説明資料の説明を行う。

少子高齢、人口減少が進み、さらには新型コロナウイルス感染症の影響による社会情勢、施策動向等の大きな変化が続いてきました。

令和2年から社会福祉協議会が窓口となり行ってきた生活福祉資金の特例貸付は、令和4年9月末で終了し、令和5年1月から償還が開始されましたが、償還免除者や償還困難者に対する相談対応、生活困窮における長期的な支援は今後も課題となっています。

社会福祉協議会が取り組んできた地域福祉活動においても、地域のつながりや人のあたたかさが感じられる社会づくりの大切さが認識され、アフター・ウィズコロナの地域づくり、通いの場や学びの場づくり、包括的に支える体制づくりに向けた事業の再開、活性化が強く期待される所です。このような課題に向け、本会は、生活

支援コーディネーターや専門職が地域に出向き、「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」のさらなる強化に取り組んでまいります。地域福祉を推進する団体として「だれもが安心して暮らせるまち」の実現に向け、一人ひとりの住民のニーズを受け止め、支援につなげていくために、地域の皆様、関係機関・団体と連携を図りながら、各種事業の一層の充実に努めてまいります。

<< 以下、資料により説明 >>

続いて、斉藤センター長より田川市地域包括支援センターの事業についてご説明申し上げます。

<< 別冊資料により説明 >>

垣原次長より議案第4号「令和4年度決算報告について」をご説明申し上げます。

本年も、会議の時間短縮の目的から、資金収支計算書の説明で終わらせていただきたくお願い申し上げます。

資料の6ページをご覧ください。この表は、決算予算総括表です。

まず、歳入では、2行目の寄付金収入は、前年度より12件増の146件6万2,375円増額の188万5,375となりました。5行目の受託金収入の差異の欄で123万9千164円の増は、センター管理運営事業で入館料の増が主な要因です。コロナの影響で令和2年度から入館者は激減しました。

コロナの影響がなかった令和元年度の入館者数は5万3,123人で、令和2年度は元年度と比較して57%の3万0590人令和3年度は41パーセントの2万1,868人、令和4年度はコロナの終息したことから入館者が増加し元年度と比較は70%まで回復し3万7,293人の入館者がありました。8行目の介護保険事業収入で予算額に対し195万4千906円の減額となりました。

訪問介護事業が63万3千766円の減と地域包括支援センターが130万2千940円の減が主なものです。

以上の事から13行目の事業活動収入計は、2億5,810万5千239円です。

支出では、14行目の人件費が予算額に対し、517万8千140円の減は、前年度5名の退職者があり職員の補充を行いました。新規雇用の為人件費の削減が出来ました。

15行目の事業費支出は予算額に対し、61万8,679円、16行目の事務費支出で68万6千324円減額となりコロナの影響で事業ができなかったことが主な要因です。

以上の事から22行目の事業活動支出計を、2億4,808万8千798円となり43行目の当期資金収支差額合計は、845万6千961円の黒字となりました。

44行目の前期末支払資金残高3千75万9千442円と合わせて、45行目の当期末

支払資金残高は、3千921万6,403円です。

以上で令和4年度決算報告を終わらせていただきます、よろしくご審議の上、ご承認いただきますようお願いいたします。

## 監査報告

続いて安永監事による監査報告が行われた。

監査は5/22・24日の2日間、私と田籠監事とで、両日とも朝9時から午後3時まで精力的に実施しました。

監査の方法についてですが、我々は効率的な監査、検査を行うため4月24日に監事会を開き、「監事監査の実施方針」を定め「決算審査チェックシート表」を作成して、事務局に資料の請求とシート表に事前回答できるように求めたところです。

監査当日は、この監査方針の基、チェックシートに沿い、事務局から説明を受けた後に、預貯金や会計帳簿等の監査を行い、資金収支計算書並びに事業活動収支計算書、貸借対照表など計算書類の突合と検証をいたしました。

このほか、理事の職務執行について決裁書類等の閲覧など状況を調査しました。

監査の結果については、資料32ページの「監事監査報告書」に記載のとおり、(1)会計帳簿は、正しく表示記載され、資金収支計算書をはじめ、関係書類の記載と合致しているものと認めます。

(2)計算書類は、法令及び定款に従い、収支及び事業活動の状況並びに財産の状況を正しく示しているものと認めます。

(3)事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(4)理事の職務執行は、不正な行為や、法令もしくは定款に違反する事実は認められませんでした。

最後に、当法人の財政状況について、我々監事の所見を申し述べます。

令和4年度は、845万6,962円の黒字決算となっておりますが、検証してみると、「介護保険事業収入」が前年度に比べて減収。一方、コロナ特例貸付における受託金収入が、新たに受託されたことなどで、辛うじて黒字決算となったものです。

当法人は、2年連続して黒字決算となっておりますが、公的金融機関の償還が令和4年からはじまっていますが、これが、令和5年度から令和13年度までの9年間、毎年200万円強を返済していかなければならず、新たな収入財源が必要となるなど、当法人には、多くの課題が山積みして、事業の運営は非常に厳しい環境下にあります。

5月24日の監事監査終了後に、理事長の出席を求めて「監査講評」を行いました。

第1回 定時評議員会 令和5年6月19日

当法人の事業運営、並びに事業活動の円滑な推進に向けて、今後とも更なる努力を重ねられるよう付言いたしましたところであります。

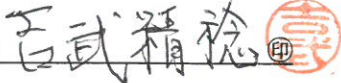

以上、我々の所見を述べて、監査報告を終わります。

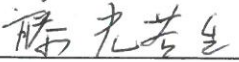

引き続き、吉武議長は第3号議案「令和4年度事業報告(案)」及び第4号議案「令和4年度決算(案)」について承認することを諮り承認されました。

以上をもって議事を終了したので午前11時00分に議長は閉会を宣し解散した。

上記の決定を明確にするため議事録署名人において次に記名押印する。

令和5年6月19日

署名人(議長)  

署名人  

署名人  

議事録の作成に係る職務を行った者 平畑尚史

役員・監事

No.	役 職 名	氏 名	出欠状況	
1	会 長	佐々木 一広	出	
2	監 事	安永 昭俊	出	
3	監 事	田 籠 均	出	

評議員名簿

No.	選 出 母 体	氏 名	出欠状況	
1	区 長 会	圖 師 利 雄		欠
2	〃	星 野 峰 敏	出	
3	〃	吉 武 精 稔	出	
4	民 生 委 員 児 童 委 員 会 協 議	辻 孝	出	
5	〃	北 山 俊 之	出	
6	〃	梅 林 由 子	出	
7	た が わ 2 1 女 性 会 議	平 田 珠 美		欠
8	視 覚 障 が い 者 福 祉 協 会	橋 本 三 雄		欠
9	老 人 ク ラ ブ 連 合 会	友 清 忠 男	出	
10	母 子 寡 婦 福 祉 会	米 森 マ リ 子		欠
11	身 障 福 祉 協 会	藤 光 若 生	出	
12	ボ ラ ン テ ィ ア 団 体 ( ボ ラ ン テ ィ ア 連 絡 協 )	藤 江 徳 孝		欠
13	保 育 所 連 盟	新 開 清 英	出	
14	遺 族 連 合 会	浦 田 憲 一		欠
15	保 護 司 会	村 坂 教 法		欠
16	市 民 生 活 部 長 高 齢 障 害 課	水 上 郁 子		欠
17	公 民 館 連 絡 協	浦 田 秀 樹	出	
18	小 学 校 々 長 会	重 松 計 茂	出	
			10	8